

調査仕様書

1. 件名

放送大学の学生による授業評価に関する調査業務

2. 調査概要

(1) 調査対象者(延べ数) 2015年度第1学期履修登録者
学 部: 全科履修生、選科履修生、科目履修生
14,500人 (250人×58科目)
2015年度1学期開設科目

大学院: 修士全科生、修士選科生、修士科目生
3,600人 (200人×18科目)
2015年度1学期開設科目

合 計: 18,100人(概算)

(2) 調査対象件数(実数) 18,100人
内訳

学 部	14,500人
大学院	3,600人

(3) 抽出方法 無作為抽出
但し、大学院科目については修士全科生を優先的に抽出すること。
また、回答する科目数は原則1名3科目までとし、同一人物が多数の科目を回答しないように配慮すること。

(4) 調査方法 郵送法

3. 調査実施の条件

(1) 請負者は、放送大学学園(以下「学園」と言う。)担当者の指示により、アンケート調査の依頼文書及び調査票を、学部と大学院の2種類作成すること。調査票については、学部と大学院で異なる色紙を使用し、識別が容易にできるようにすること。また、設問項目のほか科目名と科目コードを明示すること(学部用58種類、大学院用18種類の計76種類)。質問数は、学部・大学院それぞれ、調査票の表面に択一式24問(学生の授業への取り組み:4問, 授業評価:20問)、裏面に自由記述3問、択一式で属性項目5問とする。また、調査票の書式は学園担当者と相談のうえ決定し、校正段階でも、学園担当者の了解を得ること。なお、科目名を明示しない調査票を予備として学部用50枚、大学院用50枚の計100枚を調査票配布時に納品すること。

- (2) 請負者は、集計作業にあたり、データクリーニング(欠票状況の確認、無記入、誤記入、矛盾等の修正)を確実に行うこと。その他詳細については学園担当者の指示によること。
- (3) 請負者は、プライバシーの保護、データの機密性、調査の一貫性から、学園の承諾を得た場合を除き、再委託せず社内一括処理すること。
- (4) 請負者は、本調査の結果データ等については、本調査の目的以外には使用しないこと。また、本調査の結果データ等の使用、保存、処分等にあたっては秘密の保持に十分配慮すること。
- (5) 発送用封筒(角2封筒)及び返送用封筒(長3封筒もしくは角2封筒)は学園が請負者に提供する。発送用封筒への宛名の明示は請負者が行うこと。なお、その他、本調査に必要なとなる一切の費用は請負者の負担とすること(郵送料を除く)。
- (6) 発送にあたっては、信書に該当するため、日本郵便株式会社の郵便を利用すること。
- (7) 調査対象者のデータ等は、学園が請負者に提供すること。
- (8) 学生の調査票の返送先は、本学園(下記の返送先参照)とすること。請負者は調査票を本学園から受け取り、集計作業を行うこと。
【返送先】
千葉県美浜区若葉 2-11
放送大学学務部教務課教務係
- (9) 2014 年度の有効回収率は 41.9%

4. 集計作業・成果物について

請負者は授業評価結果データ集として以下(1)～(3)の内容に沿って集計作業を行い、CD-ROM で 1 組、その内容を以下(4)のように紙媒体で 2 部を納品すること。表・グラフ・自由記述については、表計算ソフト「Microsoft Excel」で作成すること。作成したデータは A4 用紙でそのまま印刷できるようにレイアウトすること。特に自由記述について、セル内に文字が正しく印刷時に入るよう枠を調整すること。

また、授業評価報告書として(5)のように CD-ROM にて 1 組、紙媒体で 1 部を納品すること。報告書は「Microsoft Word」で作成すること。

なお、表、グラフの種類(数)については 2014 年度の授業評価を参照し、学園担当者と相談のうえ決定すること。その他詳細については学園担当者の指示によること。

- (1) 回収されたすべての調査票について、科目ごとに各設問項目等詳細をデータ化及び自由記述を正確に文字入力化すること。自由記述については、どの調査票による記述

か分かるようにナンバリングし、全ての意見を記載すること。ただし、「意見なし」等の記述は省くこと。また、データは学部・大学院別とし、科目・設問ごとにシートを作成すること。

(2) 表、グラフについて

【学部】

I 単純集計表

- ①個票データ 58種類(科目ごと)
- ②全体一覧 1種類

II 属性別クロス集計表

- ①全体一覧 1種類
- ②コース・科目区分別 12種類
- ③メディア別 2種類
- ④専任教員・客員教員別 2種類

【大学院】

I 単純集計表

- ①個票データ 18種類(科目ごと)
- ②全体一覧 1種類

II 属性別クロス集計表

- ①全体一覧 1種類
- ②プログラム別 7種類
- ③メディア別 2種類
- ④専任教員・客員教員別 2種類

※別途、各集計表のサンプルを提供するので、それに合わせて集計を行うこと。必要に応じて、集計する年度・科目種別等に合わせて様式等を整えること。

※属性別クロス集計表については、全てのページにタイトル、表の種類名等(全体、コース名等)を入れること。

※CD-ROM中の個別ファイル名に科目コード、科目名等を入れること。

(3) PDFファイルについて

調査票裏面(自由記述含む)をPDFファイル化すること。科目ごとに調査票のナンバリング順に1つのファイルにまとめること。ファイル名に科目コード、科目名等を入れること。

(4) 結果データ集について

・紙媒体

2014年度の授業評価結果データ集を参照し、同じ紙面構成となるようにすること。詳

細は学園担当者と相談のうえ決定すること。

・電子媒体

2014 年度の授業評価結果データ集を参照し、同じファイル構成となるようにすること。
詳細は学園担当者と相談のうえ決定すること。

(5) 授業評価報告書について

授業評価の内容をもとに各種分析を行い、報告書を作成すること。

分析方法、紙面構成等については、2014 年度の授業評価報告書を参考とし、学園担当者と相談のうえ決定すること。

5. 発送期日 2015 年 8 月 14 日(金)

6. 納品期限 2015 年 10 月 28 日(水)

ただし授業評価報告書に関する納品物については 2015 年 11 月 27 日(金)とする。

7. その他

- (1)本調査の実施・集計の際には、仕様書に定める以外の事項については、学園担当者の指示に従うこと。
- (2)成果物に関する権利及び所有権は、本学園に帰属するものとする。
- (3)業務遂行にあたっては一般法令を遵守すること。

参考 2014年度実績

調査対象科目数	68科目 (学部57科目、大学院11科目)
調査対象者数	16,450人 (学部57科目×250人+大学院11科目×200人)
無作為に抽出した件数	14,256件
調査票を送付した人数	11,876人
調査票を回収した件数	5,977件
調査票の自由記述の入力文字数	736,312文字